

コミュニティサイトなどでの未成年によるアプローチ

～インターネットトラブル事例集より～



デートや食事だけで金銭的支援をしてくれる人との交際活動を「パパ活（ママ活）」と呼び、SNSを使って援助交際よりも軽い気持ちで相手を募集する人がいます。簡単な気持ちでお小遣い稼ぎをしたり、見知らぬ人に会ってはいけません。こういった行為は、児童買春、薬物投与、誘拐、ストーカー、恐喝などの犯罪被害にあうケースもあり大変危険です。

お小遣いをもらうために投稿したら



※ LJKは「ラスト女子高生（高校3年生）」を指す隠語

欲しいものがたくさんあるIさんは、お小遣い稼ぎに軽い気持ちで「パパ活相手募集」のメッセージをSNSに投稿し、食事に行くことになりました。

連れて行かれそうになった



食後気分が悪くなり、急に眠くなって…異変に気づいた店員に助けられました。Iさんの離席中、パパ活相手が睡眠薬を飲み物に入れたことが原因でした。

★考えてみよう！

○危険な書き込みがもたらすもの

上の例は、不幸中の幸いです。あなたの書き込みが、**自分の身を危険にさらす行為**だということを肝に銘じる必要があります。

パパ活の相手は、何を考えているかわかりません。あなたの**命**を奪おうと考えている人もいるかもしれません。

○一呼吸置いて落ち着き、保護者に相談しましょう

何かを欲しい欲求を上手にコントロールするには、**一呼吸置く**ことが有効です。深追いせずに、一呼吸置いたうえで、どうしてもその物が必要な時は、保護者に相談して家の手伝いや長期休暇のバイト行方など、**安全な解決策**を考えましょう。

〈参考〉 ・総務省「インターネットトラブル事例集（2022年度版）」

https://www.soumu.go.jp/use_the_internet_wisely/trouble/

本メールに関して御質問、お問い合わせがある場合は下記まで御連絡ください。

【担当】福井県安全環境部県民安全課

☎0776-20-0745（直通）

メール：kenan@pref.fukui.lg.jp

子どもの安全安心に関する情報を
ツイッターで発信しています →

